

報道関係各位

2025 年 7 月

上野アーティストプロジェクト 2025 「刺繍—針がすくいだす世界」

Ueno Artist Project 2025: Embroidery

—Expression of Life from the Rhythm of a Needle

(同時開催)「刺繍がうまれるとき—東京都コレクションにみる日本近現代の糸と針と布による造形」

会期：2025 年 11 月 18 日（火）～2026 年 1 月 8 日（木）

東京都美術館では、11 月から来年 1 月にかけて、上野アーティストプロジェクト 2025「刺繍—針がすくいだす世界」を開催します。

シリーズ第 9 回目となる本展では、布地などに針で糸を刺し、縫い重ねる手法によってかたちづくられた多彩な造形と表現に注目します。手に持った針を動かし、布の表裏の行き来を繰り返す「刺繍（ししゅう）」と呼ばれるような仕事は、つくり手に自分だけの世界に潜りこむことを促し、安らぎや自己解放、時に救済をももたらすものと言われる。一方で、布地の補修や装飾、信仰などのため、様々な時代、様々な場所で土地の風土に根ざしながら発生してきたこの手わざは、時間・空間を隔てた他者の生活への想像力を働かせるきっかけともなり得るものです。

近世以来の刺繍職人の家に生まれ、伝統的技法に基づきながら革新的な表現を追い求めた**平野利太郎**（ひらの としたろう・1904～1994）。西洋刺繍の知識を土台に、羊毛を用いた躍動感ある絵画的な刺繍作品を発表し、日本手芸普及協会の会長も務めた**尾上雅野**（おのえ まさの・1921～2002）。絵や映像を介して目にし、記憶した風景や事物を、自由なステッチで画面上につくり上げていく**岡田美佳**（1969～）。つくることをめざすのではなく、自分の奥底に流れる時間や感覚を確かめるかのように、日々、糸を刺し続ける**伏木庸平**（ふせぎ ようへい・1985～）。ベンガル地方の女性たちの間で古布再生や祈りの思いから生まれ継承されてきたカンタと呼ばれる針仕事に共鳴した**望月真理**（1926～2023）。

本展では、以上の大正末から現在にいたる国内の 5 名の刺し手たちの活動をみつめます。それぞれが手を動かし、布の上にすくい上げた「かたち」と向き合うことで、針と糸というシンプルな道具とともに続けられてきたこのいとなみの意味と可能性について、考える機会となれば幸いです。

※「上野アーティストプロジェクト」は、「公募展のふるさと」とも称される東京都美術館の歴史の継承と未来への発展を図るため、公募展に関わる作家を積極的に紹介する展覧会シリーズです。2017 年より毎年異なるテーマを設けて開催しています。



◆主な出品作品



岡田美佳《ハーブの庭》1996 年
作家蔵



尾上雅野《秋》1974 年
公益財団法人日本手芸普及協会蔵



伏木庸平《こもんぺべ》（部分）2023-24 年
作家蔵



平野利太郎《サポテン》（部分）1955 年
町田市立博物館蔵



望月真理《象は森の王様》2020 年頃
個人蔵

撮影：鈴木静華

◆開催概要

■展覧会名：上野アーティストプロジェクト 2025「刺繍—針がすくいだす世界」

Ueno Artist Project 2025: Embroidery—Expression of Life from the Rhythm of a Needle

■会期：2025 年 11 月 18 日（火）～2026 年 1 月 8 日（木）

■会場：東京都美術館 ギャラリーA・C

■休室日：2025 年 12 月 1 日（月）、15 日（月）、22 日（月）－2026 年 1 月 3 日（土）、1 月 5 日（月）

■開室時間：9:30～17:30（入室は閉室の 30 分前まで）

■夜間開室：金曜日は 9:30～20:00（入室は閉室の 30 分前まで）

■観覧料：一般 800 円 65 歳以上 500 円 学生・18 歳以下無料

※同時期開催の特別展「ゴッホ展 家族がつないだ画家の夢」のチケット提示にて入場無料

■主催：東京都美術館（公益財団法人東京都歴史文化財団）

■展覧会ウェブサイト：https://www.tobikan.jp/exhibition/2025_uenoartistproject.html

■問い合わせ先：東京都美術館 03-3823-6921

◎広報用画像申請用 URL : <https://tobikan.jp/plate/16>

注意事項 :

- ・本展をご紹介いただける場合のみお申し込みいただけます。
- ・ 作品クレジットを必ず入れてください。作品画像のトリミングや文字のせはできません。
- ・ 校正ゲラ等の確認が必要です。press@tobikan.jp に必ず掲載前にお送りください。

報道関係の方からの本件に関するお問い合わせ先

東京都美術館 広報担当

E-mail : press@tobikan.jp

[同時開催]

刺繍がうまれるとき—東京都コレクションにみる日本近現代の糸と針と布による造形

When Embroidery is Born—Modern & Contemporary Thread, Needle and Fabric Creations Seen in the Tokyo Metropolitan Collection

東京都江戸東京博物館、東京都写真美術館、東京都現代美術館の所蔵品から、「刺繍」や「刺子」と呼ばれるような糸・針・布による造形物とそれに関連する資料を、時代ごとに4つの章に分けて紹介します。あわせて特別に、女子美術大学工芸専攻研究室が所蔵する明治末～昭和初期の学生たちが制作した「刺繍画」も展示いたします。

◆展示構成

- ・第1章 刺繍で飾る・彩る：近代の刺繍装飾
- ・第2章 刺繍を学ぶ・習う：女子教育・教養・趣味
- ・第3章 刺繍で守る・祈る：戦争・災害と〈刺繍〉
- ・第4章 刺繍で想う・考える：現代作家と〈刺繍〉

◆主な出品作品



青山悟《Map of The World》2014年
東京都現代美術館蔵



木村伊兵衛《千人針》1940年
東京都写真美術館蔵 ©木村尚子



高田安規子・政子《ジョーカー》2011年
東京都現代美術館蔵 Photo: Ichiro Otani

◆開催概要

- 展覧会名：刺繍が生まれるとき—東京都コレクションにみる日本近現代の糸と針と布による造形
When Embroidery is Born—Modern & Contemporary Thread, Needle and Fabric
Creations Seen in the Tokyo Metropolitan Collection
- 会期：2025 年 11 月 18 日（火）～2026 年 1 月 8 日（木）
- 会場：東京都美術館 ギャラリーB
- 休室日：2025 年 12 月 1 日（月）、15 日（月）、22 日（月）－2026 年 1 月 3 日（土）、1 月 5 日（月）
- 開室時間：9:30～17:30（入室は閉室の 30 分前まで）
- 夜間開室：金曜日は 9:30～20:00（入室は閉室の 30 分前まで）
- 観覧料：無料
- 主催：東京都、東京都美術館（公益財団法人東京都歴史文化財団）
- 連携：東京都江戸東京博物館、東京都写真美術館、東京都現代美術館（公益財団法人東京都歴史文化財団）
- 問い合わせ先：東京都美術館 03-3823-6921

◎広報用画像申請用 URL：<https://tobikan.jp/plate/16>

注意事項：

- ・本展をご紹介いただける場合のみお申し込みいただけます。
- ・ 作品クレジットを必ず入れてください。作品画像のトリミングや文字のせはできません。
- ・ 校正ゲラ等の確認が必要です。press@tobikan.jp に必ず掲載前にお送りください。

報道関係の方からの本件に関するお問い合わせ先

東京都美術館 広報担当

E-mail：press@tobikan.jp